

# 愛知のてっぺんで、 星空を見上げよう

愛知県豊根村では、村内のどこからでも、星をきれいに望むことができます。また月に1度、休暇村茶臼山高原では、星空観察会を実施しています。

宿泊情報につきましては、豊根村観光協会までお問い合わせください！

## 星のソムリエと楽しむ 冬の星空観察会【予約不要】

休暇村茶臼山高原

☎ 0536-87-2334

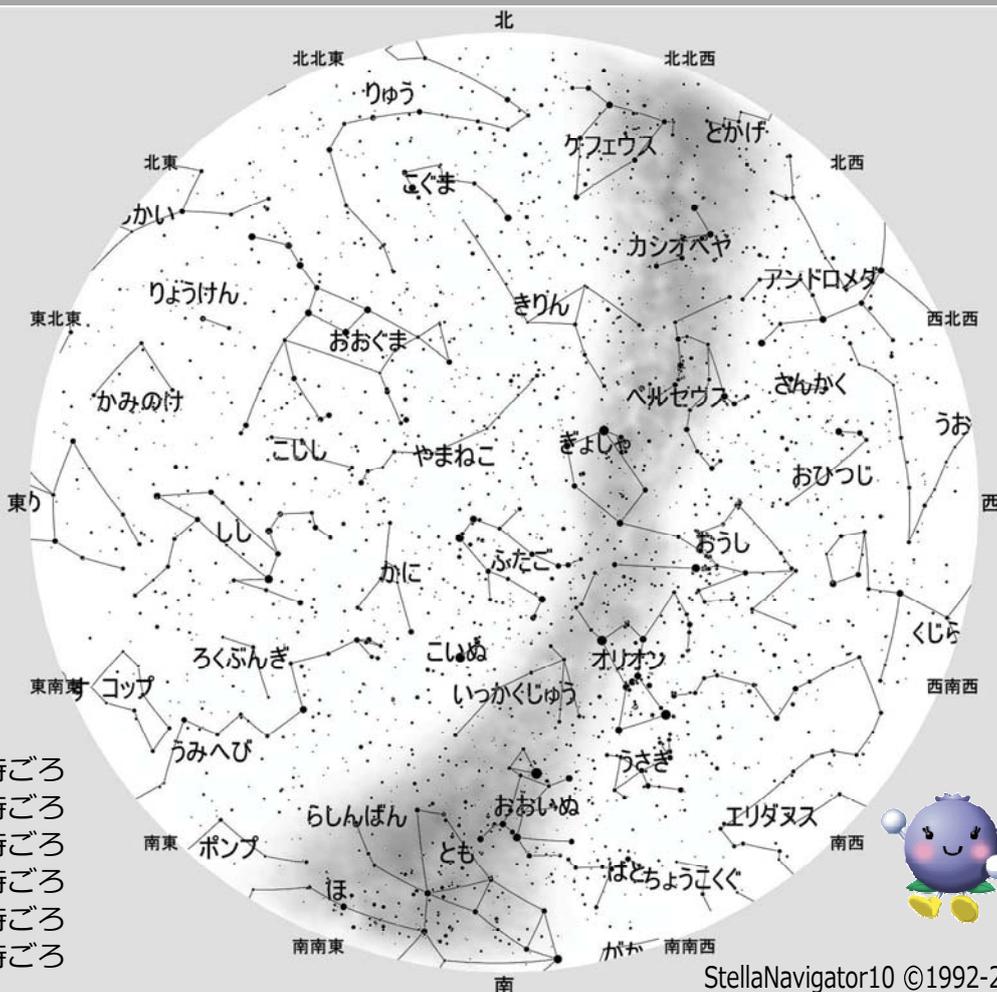
1月 6日(土) 20:00~

2月 10日(土) 20:00~

3月 10日(土) 20:00~

※その日の都合により、  
開始時間が前後することがあります。

【問い合わせ】 豊根村観光協会 ☎ 0536-87-2525



1月 5日 24時ごろ  
1月 20日 23時ごろ  
2月 5日 22時ごろ  
2月 20日 21時ごろ  
3月 5日 20時ごろ  
3月 20日 19時ごろ



StellaNavigator10 ©1992-2017 Astro Arts Inc.

## 1~3月の星空

年が明けて1月。寒さもピークを迎え、星空はすっかり冬の装い。寒さが夜空の星の輝きを引き立てているようです。南の空にはベテルギウスとリゲルの2つの一等星がある有名なオリオン座。そこから視線を頭上に動かしていくと、おうし座のアルデバラン、ぎよしゃ座のカペラが見つかります。そこからは視線を東に。ふたご座のポルクス、こいぬ座のプロキオン、そして、全天一明るく輝くおおいぬ座のシリウス。これらすべてが一等星。全天で21個しかない一等星のうちの7個が冬の星座にあるのです。冬の天の川には、たくさんの散開星団があります。双眼鏡や望遠鏡で見ると無数の星が集まっているようすが見られます。

そして、夜半を過ぎると、東の空には春の星座が昇ってきます。春には天の川が見えにくくなるけれど、私たちの銀河系の外側にある系外銀河や球状星団が見られるようになります。望遠鏡で深宇宙探検も楽しいです。さらに、3月の夜明け前には、木星、土星が昇ってくるようになります。木星や土星を望遠鏡で見ると…感動間違いなしですね。

## おもな天文現象

「天文年鑑 2018」より抜粋

1月	2日	水星が西方最大離角。満月
	4日	しぶんぎ座流星群極大
	8日	小寒 (太陽の黄経が 285°になる)
	9日	下弦
	17日	新月
	20日	大寒 (太陽の黄経が 300°になる)
	25日	上弦
	31日	満月。皆既月食 (全国で見られる)
2月	3日	節分
	4日	立春 (太陽の黄経が 315°になる)
	8日	下弦
	16日	新月。南極方面で部分日食
	22日	雨水 (太陽の黄経が 330°になる)
	23日	上弦
3月	2日	満月
	6日	啓蟄 (太陽の黄経が 345°になる)
	9日	下弦
	16日	水星が東方最大離角
	17日	新月
	21日	春分 (太陽の黄経が 0°になる)
	25日	上弦
	31日	満月
	26日	上弦

## スーパームーンと皆既月食

2018年1月には2回の満月が見られます。その両方ともが今年注目の満月。1月2日の満月は、地球に今年一番近づいた満月で、いつもより少し大きく見えます。明るさは30%増。いつもより眩しく輝く月を楽しみましょう。そして1月31日の満月は、月が地球の影に入る皆既月食。いつもと違う暗い満月をじっくり見てみましょう。